



第1回和歌山県人会
世界大会の様子はこちら



開催概要

- 10月5日(木) オープニングイベント
- 10月6日(金) ふるさと巡りツアー
- 10月7日(土) わかやまスタディツアー、中南米県人会シンポジウム、弁慶祭り参加、合気道体験
- 10月8日(日) 和歌山体験ブース、記念式典、レセプション

国内を含む世界各地の和歌山県人が一堂に会し、「ふるさと和歌山」を合言葉に、様々なプログラムを通して、和歌山県にルーツを持つ方々の郷土愛を高めるとともに、県民の皆さんに、移民の歴史に関する理解を深めていただく機会とします。

第2回 和歌山県人会 世界大会の開催

わかやまけんじんかい
せかいたいかい
かいさい



和歌山県出身の移民の多くは、移民先での相互扶助や親睦などを目的に、和歌山県人会を組織しました。故郷から遠く離れた異国の地において、県人会の存在は移民たちの心のよりどころとなっています。

世界に広がる和歌山県人会

わかやまけんじんかい
かつどう

記念式典の参加者を募集

日時 令和5年10月8日(日) 16:00~18:00
場所 和歌山県民文化会館(大ホール)
参加 2,000名(在外県人会員約500名、国内県人会員約50名、来賓・一般参加者)
内容 主催者・来賓挨拶/県人会の紹介/県人会代表挨拶/大会宣言、記念アトラクション
参加申込 詳細を決定次第、国際課のWEBサイトで発表



歓迎レセプション

YouTube 和歌山県公式チャンネル

動画「海の向こうの和歌山」

移民の歴史や現地での生活などを、県人会員のインタビューや専門家の解説を交えて紹介しています。

北中米大陸編 [30分]
南米大陸編 [30分]

県立近代美術館 大会記念特別展

トランスポーター 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術

多くの和歌山県人が海を渡った本県の歴史を背景に、アメリカ西海岸で美術を志した人々の足跡を追う展示会を開催します。

期間：9月30日(土)~11月30日(木)
入館料：一般800円、大学生500円 (65歳以上、高校生以下無料)

ハンリー・杉本(カメルハイランド海辺)1937年 和歌山県立近代美術館蔵



三井デリアさん (アルゼンチン和歌山県人会)
ルーツ:新宮市熊野川町(二世)

子供の頃は周囲にまだ日本のことがよく知られていなくて、日本人の顔をしているのでからかわれていたんです。それがすごく嫌で、「なんでこんな顔で生まれたの」と親に文句を言ったこともありましたが、でも大人になってそういうことは全くなくて、今では自らのルーツを誇りに思っています。

2年間の日本留学で、日本はこんなに素晴らしい国なんだと自分の目で確かめて、これを子供たちに伝えなきゃと思って日本語教師の道を歩み始めました。日亜学院で教師をしてもう42年になります。授業では、勉強以外に思いやりの心や相手を尊重するといった日本の価値観を伝えています。学院が始まった当初はもちろん生徒は全員日系人でしたが、今は70%が非日系です。それだけ日本に対する興味関心が高くて、日本のイメージがアルゼンチンでは非常に良く、日本人というだけで信頼されて尊敬されています。



ブラジル和歌山県人会創立65周年記念式典

県人会の活動

各地の県人会は、活動の主体を一世から二世、三世の若い世代へ移しながら、記念式典や新年会、敬老会、ピクニック、祭りの開催など様々な活動を通して、和歌山県人としての誇りとふるさとへの愛着を継承しています。



フランク・ウシロデさん (東部カナダ和歌山県人会)
ルーツ:美浜町三尾(三世)

戦時中にカナダ西海岸にいた日系人は、財産を没収されて内陸部へ強制移動させられ、多くの日系人がトロントに移りました。戦後仕事もなく差別を受けて苦しい状況にあった日系人は、ユダヤ人から仕事をもらい大助けられました。僕も最初はユダヤ人の会社で働きました。

どうしてユダヤ人が日系人を助けたのかというと、戦時中に迫害を受けていたユダヤ人難民にビザを発給して救った日本の外交官杉原千畝のことを彼らが覚えていたからなんです。ユダヤ人は日系人を歓迎し、日系人のために力を注いでくれました。

ただ、仕事をもらえたといっても賃金は低く生活は苦しいものでした。それでも皆故郷である三尾のためにお金を送っていたのです。

和歌山県の取り組み

県では、各地の県人会が開催する創立記念式典に訪問団を派遣し、移民やその子弟の方々との交流を深めています。また、南加和歌山県人会(南カリフォルニア)や中南米諸国の県人会の子弟を数週間受け入れ、県内の高校生、大学生との交流や日本文化体験、交流イベントなど、様々な形で日本・和歌山を体験する事業を実施しています。